

製造
身知精
正

サンデンプライムパートナー 株式会社

サンデン株式会社の特例子会社※

充実した教育により、企業の貴重な戦力へ



社員の声



小林 幸司さん
(入社:平成25年4月)

日々の仕事に達成感を得られています

・仕事内容

親会社に納品する部品の梱包をしています。1日に何百個、もしくは千個以上を梱包することもあるため、体力の必要な仕事だと思います。また、仕事をしていて何か困った時は、間違っただけだと余計に大変になるため、自分で勝手に判断せず、必ず上司に確認をとるようにしています。

・仕事に対する思い

日によって梱包する数や部品が異なるため、一緒に作業をするメンバーとの意思疎通が重要になります。そのため、積極的にコミュニケーションをとり、和気あいあいと仕事ができるように心掛けています。また、1日の作業が終わり、山積みになった梱包済の部品を見ると「今日はこんなに仕事ができたと」いった達成感を仲間と共有できることが嬉しいです。

・就職を考えている障害のある方へ

まず、自分にどんな仕事ができるのかを探してみるから始めると良いと思います。何ができのかがはっきりすれば、面接などでも企業にアピールできるようになることにより、採用されやすくなると思います。

社員の1日のスケジュール

障害のある社員17名のうち、精神障害のある小林さんの仕事の様子を紹介します。

- 8:40 ● 出社**
朝礼を行い、1日の業務や連絡事項を確認し、工場内の清掃を行います。
- 9:00 ● 作業開始**
梱包ラインに入ります。4~5人で行う流れ作業のため、ペースが乱れないようにコミュニケーションを取りながら進めていきます。
- 12:10 ● 昼食**
食堂で他の社員と一緒に談笑しながら昼食をとりまします。
- 12:50 ● 作業再開**
午前中の作業の続きを行います。終わり次第上司に報告し、別のラインのサポートに入るなどしています。
- 17:30 ● 退社**
日報を提出して退社します。



■ラベル準備
梱包ラインの工程の一つです。梱包された部材に貼るラベルの準備をします。



■梱包用ダンボール箱の組み立て
梱包ラインの工程の一つです。梱包するためのダンボール箱を組み立てます。



■ピッキング作業
必要な部材・道具などを在庫置場から調達します。

雇用に際しての取り組み

定期面談を行う

特例子会社として設立してから継続して実施しているのが、障害のある社員と定期的に行う面談です。障害や体調の状況などを把握するとともに、仕事に対する希望や悩みなどを聞き、日々の仕事の割り振りや勤務時間を変更するなどの配慮を行っています。



仕事ができるようになるまで待つ

障害のある方が入社した際は、簡単な軽作業を本人の理解度に合わせて教えるようにしています。「できないから他の仕事を教える」のではなく、「まずは一つの仕事を覚えられるまで待つ」というスタンスで彼らの教育に当たっています。最初は仕事ができなくて当たり前です。何度も根気よく教えることにより、徐々にではありますが、彼らもそれに応えるようになり、必ず仕事ができるようになってくれます。



職場全体でサポート

障害のある社員に長期にわたって働き続けてもらうためにも、業務中に障害のある社員が困っていた時にはすぐにフォローに入る、職場で孤立しないよう積極的に声をかけるなど、障害のある社員が働きやすい環境づくりを第一に考えています。そのため、現場の社員には、「常に周囲に気配りをするように」と指示を出し、職場全体で障害のある社員をサポートするようにしています。



支援機関による生活面のサポート

障害のある社員の仕事面に関するサポートは事業所でも対応できますが、生活面のサポートは難しいため、支援機関にサポートを依頼しています。例えば、障害のある社員が出勤できなくなってしまった際に、自宅を訪問してもらい、さらには、通院に同行してもらい、彼らの体調などの情報を共有してもらい、日々の仕事量を調整できるため、サポートしてくれる支援機関は重要な存在となっています。



事業内容

サンデンプライムパートナー株式会社は、サンデン株式会社の特例子会社として平成25年に設立しました。主な事業として、親会社であるサンデン株式会社から受注した部品の製造や梱包、配送、事務業務を行っています。



障害のある社員の業務内容

- ・機械部品の梱包、発送業務
- ・清掃業務
- ・データ入力などの事務業務



障害者雇用を検討される事業所のみなさまへ

企業がしっかり育てれば、立派な戦力として働いてくれます



代表取締役
比護 裕司さん

特性を理解する

障害のある方に対して、多くの企業が「仕事なんてできないのではないかと」考えていると思います。障害のある方を実際に雇用してみると、障害のない方よりも作業スピードは遅く、仕事を覚える時間もかかります。しかし、実習や面談などを通じて、彼らの特性を理解し、それぞれに合った仕事を担当させ、できるようになるまでしっかり教育することにより、障害のない方よりも

もできるようになることもあります。

接する機会を作る

「障害のある方がどのような仕事ができるのか」は、実習などで一緒に働くことで理解できると思います。また、特別支援学校や障害者雇用をしている企業の見学会に参加するなど、障害のある方の就職に向けた準備・訓練の様子などを実際に見ることにより、理解を深めていただきたいと思います。

※特例子会社・・・障害のある方の雇用の促進及び安定を図るため、障害のある方の雇用に特別の配慮をして設立した子会社。一定の条件を満たす場合には、雇用率の算定において親会社の一事業所とみなされる。

事業所データ

設立 2013年(平成25年)
常用労働者数 18人
代表者 代表取締役 比護 裕司
所在地 〒372-8502 群馬県伊勢崎市 寿町20

TEL:0270-24-6536
URL:www.sanden.co.jp



会社概要

サンデン株式会社の特例子会社として平成25年に設立。

障害のある社員の雇用状況

障害のある社員数 17人
うち重度障害のある社員数 6人

区分	身体	知的	精神
正社員	6人	5人	6人
契約社員			
パート			
アルバイト			